

2025年 巳年は 信の年！

代表取締役社長 内藤 岳

巳年は修養を継続し
一念通天な年

2025年も幸福な年でありますように！

The Knights of Environmental Science
「快適環境創造」に生きるデータ
役に立つ科学技術を提供し
人類社会に貢献することが私たちの使命です。

常に感謝の念をもち
み(巳)なさまに笑顔と喜びを感じて頂く
信の年にします！

辰年は、より自身を磨き、仕組が安定するように工夫改善に取り組んでまいりました。

巳年は修養を継続し、これまでの取組みを運用し、これまで以上にご提案ができる分析センターを実現します。

「あなたの分析室」としてかゆいところに手が届き、「快適環境創造のパートナー」として次につながるご提案をすることで、皆様の快適な環境の実現に貢献できるよう、本年も邁進してまいります。旧に倍するご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

下記の記事をご希望の方は編集室までご連絡下さい。

- [1.「令和6年度浄化槽法施行状況点検検討会報告書」の取りまとめについて](#)
- [2.「化学物質管理強調月間」\(2月\)が初めて実施されます](#)
- [3.低濃度 PCB 廃棄物の無害化処理の認定申請について](#)
- [4.産業廃棄物の不法投棄等の状況\(2023年度\)について](#)
- [5.水道における微生物対策の実施状況について](#)

水道水の PFOS 及び PFOA について 水質基準項目へ見直しを検討

2024年12月24日に環境省で2024年度第2回水質基準逐次改正検討会開催され、水道水のPFOS及びPFOAについて水質基準項目へ見直しなどの検討が行われました。

①PFOS 及び PFOA に関して

水質管理目標設定項目に設定されているPFOS及びPFOAについて水質基準項目へ見直しと、施行日として2026年4月1日が提案されました。検査頻度は3ヶ月に1回を基本として、検出状況によって検査回数の減が規定される見込みです。

②PFHxS に関して

PFHxSについては、引き続き要検討項目に位置づけ、PFHxSの水道水中における検出状況の把握に努めるとともに、リスク管理の方策に関する知見の蓄積を行うことが提案されました。

③PFAS 類に関して

国内におけるPFAS類の検出実態の調査結果からPFBS、PFBA、PFPeA、PFHxA、PFHpA、PFNA、GenXをPFAS類として要検討項目に位置づけることが提案されました。

今後の予定について

検討会の議論を踏まえて方針案を取りまとめた後、中央環境審議会水道水質・衛生管理小委員会で審議し、了承が得られた場合は、内閣府食品安全委員会へ諮問が行われます。

当社では水道水のPFASの分析に実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社PFAS分析担当者(フリーダイヤル0120-01-2590)までお気軽にお問い合わせください。

資料 [2024年12月24日開催 環境省 2024年度第2回水質基準逐次改正検討会資料](#)

[6.化審法施行令の一部を改正する政令の公布について](#)



PFAS の小冊子進呈中！

PFASとはPFOSやPFOAなどの有機フッ素化合物の総称で、撥水、撥油性を有し、難分解性で安定しているために、様々な製品に使用されてきました。しかし、その安定性から環境中の残留性や生体内への蓄積性が問題視され、国内外で規制の動きがあります。当社では、PFASの規制などに関する情報を小冊子としてまとめ、希望者に進呈いたします。

お問い合わせはこちら



[過去の記事はこちら](#)

[お問い合わせはこちら](#)